

富士見未来会議にご参加いただきまして皆様からお寄せいただいたご感想・未来へのご提言をご紹介します。

(掲載氏名アイウエオ順)



小池一市さん(信濃境)

「未来会議に参加して」

富士見町第四次総合計画策定にあたり、側面から一住民として参加できたことは意義あるとともに、責任も持たなくてはと感じた。

司会者の「役場の職員が思いづかなかったようなアイデア・提言を望んでいます。」との言葉に出席者の目が輝いた。

三ヶ月の短い期間に提言を出さなければと思うとあせりも感じられた。意見の衝突もあったが、私はそれも良かったと思った。

参加者はエターン、Uターンの人がほとんどで、富士見に生まれ富士見に育った人は三・四人くらいで残念だった。発言も控え目だったように思った。

未来会議での取り組みが良かったと思う。

第一、無報酬である。

第二、行政主導ではない。

第三、提言と言っても統一した結論はなく、早く言えば両論併記である。

第四、提言であり、これを全部取り上げられなくても、参考にしてもらえばそれで良い。

こうした企画は行政主導ではなく、自分達が主体となり長く続けていきたい。

こうした企画は行政主導ではなく、自分達が主体となり長く続けていきたい。



小林宏行さん(高森)

「住民に平和のパスポートを」

町長は未来会議の提案を第四次総合計画策定の大切な資料にするでしょう。また、計画策定の住民アンケートは住民の重要なメッセージです。十年先の町ならば、的確に防火と防災ができる町、屋根や壁材からアスベスト飛散がない町、健康を害さない農業の町、森林浴環境の健康な林業の町、適切な行政推進で安全・安心の町、飛躍する技術技能の町、若者が魅力を感じる町、高齢者が安らぎを感じる町、

未来への提言 ~ 私から ~

町の実現を期待します。その町は住民を保護する進化発展した富士見町です。

未来ならば、湧水、河川、里山、農地、周囲の自然と文化財を利用した散策、スポーツ、教育研修、山菜栽培の複合観光コースのある人気の町、あちこちで風車が廻り、そのエネルギーを有効活用している町、未来社会に役立つヘリポートのある町を想定します。

その町は、投資負債のない民意自治行政が確立した、住民主権と平和が光る新文化を構築する人口三万の富士見町です。



ジェルミ・エンジェルさん(池袋)

未来会議に参加させていただき感謝している。短い時間ではあったが、提言を読み返してみると、今度の第四次総合計画に導入すべき提案が数多く出されたこと改めて思う。もっと大勢の町民の参加があったら尚良かったが、有意義な会議だった事は間違いない。

今までの総合計画は抽象的な言い回しが多く、結局絵に描い

た餅に等しく、またその達成率も問題視されてこなかった。

今回は、町長の希望でもあり、期間内に実行可能な、尚且つ具體的な提案に絞って考えたが、私がその中で最も富士見町の未来に必要なと思っているのは、ずばり言うところ「景観はお金になる」と言う発想だ。富士見町には既に素晴らしい「素材」があるが、きちんとしたビジョンの元でさらに美しく形成していけば、いずれ地価上昇や観光収入増加などの形で富士見町に計り知れない富をもたらすはずだ。息の長い仕事だが、やればやるほど富士見の未来は明るいと思う。

景観形成条例制定はその第一歩である。



下平 武さん(神戸)

今回の未来会議を、公募の住民参加型にするということに対して、一部で心配の声が上がっていたというのを聞きました。これから先10年間の町政に対して一般の住民が的確に、現実に対応した提言が行えるかということに疑問を抱くのはもっともなこと